

## 第 1 回長野県がん対策推進協議会における主な議論について（計画関係）

8月18日(金)14時から16時

県庁議会棟 404 号会議室

分野	主 な 議 論
がんをめぐる現状と全体目標	<p>○全体数値目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会として、全体数値目標に 75 歳未満年齢調整死亡率の減少を掲げないということに一致した。</li> </ul> <p><b>→全体数値目標から削除</b></p>
がん対策の推進と尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築	<p>(1) 県がん対策推進企業連携協定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携企業数について、現状 30 社はまだまだ少ないため、企業規模に問わず参加企業を増やすべきであり、達成度のわかる数値目標にするべきとの意見があった。</li> </ul> <p><b>→長野県経営者協会加盟企業 603 社を数値目標の基準とし、その 5 割程度である 300 社を目標としたい。</b></p> <p>(2) アンケート等による実態調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者をがん患者やその家族及び関係団体としているが、企業や労働者も対象として、意識付けができるような実態調査を行うべきとの意見があった。</li> </ul> <p><b>→今後実態調査の実施を検討する中で議論する予定</b></p>
がん医療の充実	<p>(1) 骨子案の項目立てについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国基本計画案（案）概要と同じような形で県の骨子案も項目立てをしたほうがいいのではないかという意見があった。</li> </ul> <p><b>→国基本計画案（案）と同様に項目立てとする。</b></p> <p>(2) 外来化学療法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抗がん剤等高額な処方が多くなっている中で、高額医療費に対する情報提供を行うことが重要ではないかという意見があった。</li> </ul> <p><b>→コラム「高額療養費制度と先進医療費利子補給事業」に反映</b></p>
コラム	<p>(1) 緩和ケアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん治療の中で痛みに対して不安に感じている方が多いため、緩和ケアについて優しいコラムが必要との意見があった。</li> </ul> <p><b>→コラム「緩和ケア」に反映</b></p> <p>(2) 就労支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・骨子案において就労支援といった部分が色濃く出ているため、働きながら、治療を継続していきながらといった内容のコラムが必要との意見があった。</li> </ul> <p><b>→コラム「就労支援」に反映</b></p>

## 追 加 意 見

分野	主 な 議 論
<p>がん医療の 充実 〈浅波委員〉</p>	<p>○緩和ケアについて</p> <p>(1) 質の高い緩和ケアの提供、体制の充実・推進を図るため、緩和医療専門医や精神腫瘍医の確保について意見があった。</p> <p style="text-align: center;">→平成 29 年 4 月現在 緩和医療専門医：全国 178 名、県内 4 名（全国 12 番目） 精神腫瘍医           ：全国 64 名、県内 1 名</p> <p style="text-align: center;"><b>当該専門医に限ったものではなく、「がん医療に携わる各専門医」の確保として記載したい。</b></p> <p>(2) がんと診断された時から緩和ケアを実施する体制の数値目標について、具体的な数値の揭示をするよう意見があった。</p> <p style="text-align: center;">→「緩和ケアチームのある医療機関数」の数値目標を、現状より増加から 21 箇所以上に変更（全国平均以上）</p> <p style="text-align: center;">「緩和ケア研修会の受講者数（累積）」の数値目標を、現状より増加から 2,500 人以上に変更（年 100 人以上の受講を想定）</p>

### 第 3 回保健医療計画策定ワーキンググループ会議における主な議論について

第 3 回がん・生活習慣病対策・歯科・医薬WG

8 月 28 日（月）

分野	主 な 議 論
<p>がん予防・がん検診の充実</p>	<p>(1) 施策の展開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん検診の「受診率の向上」について、受診率を上げるためには中小企業や非正規雇用の人たちの受診率を上げるための努力が必要で、そのための取組を盛り込むべきとの意見が出された。</li> </ul> <p style="text-align: center;">→10 ページ「3 県の取組(2)」に記載</p> <p>(2) 数値目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ がん検診受診後の精密検査をどれだけ受けたのかを数値目標にしてはどうかとの意見が出された。</li> </ul> <p style="text-align: center;">→11 ページ「2 県民の取組」に記載</p>
<p>がん医療の充実</p>	<p>(3) 現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表 12「地域連携クリティカルパスを適用した患者数」の数値について、そもそも需要がどのくらいあるかわからない中で人数だけ出しても良し悪しがわからない。むしろ、クリティカルパスがどのくらい寄与しているかという数値が必要ではないかとの意見が出された。</li> </ul> <p style="text-align: center;">→クリティカルパスの寄与度等を表すデータが現時点で存在しない。表を削除</p>